

# 大軍拡NO! 人権をまもれ!

【速報】東京高齢期運動連絡会  
2023年2月23日(木)  
tokyo.koureiki@gmail.com  
豊島区南大塚3-1-12  
生方ビル4階  
03-5956-8781

## 2月22日 第32回ゆたかな高齢 期をめざす東京のつどい全体会

### なかのZEROに630人

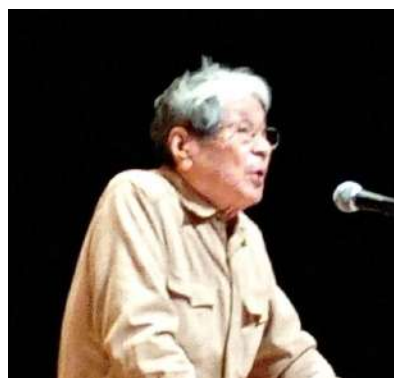
2月22日なかのZEROホールで「ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい全体会」が実行委員会の主催で開催されました。大軍拡NO! 人権をまもれ!のスローガンが掲げられ、会場に630人が参加、視聴会場と個人をあわせ最高時23接続のWeb参加がありました。終了後中野駅で宣伝を行いました。

高齢者有志による合唱団の「かけがえのない人生」「老いも若きも」の素敵な歌声で集会がはじまりました。

実行委員会代表委員の小沢さん（年金者組合都本部）が主催者あいさつ、事務局長の菅谷さんが基調報告を行いました。

### 国民の闘いが築いた社会保障 篠崎次男さんが講演

元日本高齢期運動連絡会事務局長の篠崎さんが記念講演を行いました。篠崎さんは、岸田政権の戦争への暴走の危険性を指摘しました。



小児麻痺ワクチン獲得、人間裁判・朝日訴訟、老人医療費無料化運動の3つの闘いについて詳しく話し、私たちが動けば多くの高齢者が賛同してくる社会状況が生まれている。闘いを

を広げていきたいと呼び掛けました。

### 充実した4つの運動報告

休憩の後、鞘抜十一さんの津軽三味線が集会を彩り、4つの運動の報告が行われました。

### 横田基地撤去を求めて

横田基地撤去を求める西多摩の会の市毛さん（日本共産党福生市議）は、憲法9条の道を踏み外す日米の軍事一体化を横田基地の現状から告発。オスプレイの危険、有機フッ素化合物





の問題を報告し、毎月第3日曜日の座り込みへの参加を訴えました。

## 日の出町の福祉施策・現状と課題

**日の出町発！長寿化対策**  
～日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言～

永年にわたるお年寄りの献身的なご尽力・ご努力に感謝するとともに、ますますご健健でお暮らしいたたくため、日の出町は、本日のご老の日に当たり、日本一お年寄りにやさしい町づくりを推進することを宣言し、全国の市区町村に先駆けて、平成二十二年四月から次の施策を実施します。

1. 七十五歳以上の方が負担する医療費を無料にします。
2. 七十五歳になる方が受ける人間ドック受診料を無料にします。
3. 健康教室を開催し、お年寄り向けスポーツを支援するなど、健康管理・健康増進を図ります。

日本共産党日の出町議会議員の折田さんは、町独自の老人医療費無料化実現の経過を報告、費用は町予算の1%前後、これによって高齢者医療にかかる費用は都の平均より低いと説明。高齢化率上昇と国の医療費改悪の中で、補助の上限を設けながら 制度を継続することを話し、要求を掲げ声を上げ続けること、世論にしていくなを努力をすることの大切さ、統一地方選の重要性を訴えました。

## 杉並区の運動と岸本区政の実現

杉並コモンズの小田部さんは、自らの要求で区政に目を向けた経緯から話し始めました。市民の運動を中心に野党が党派をこえて共闘する姿、楽しい選挙活動、対話型の街宣、地域の困りごとを一つにつなげたチラシ、今まで選挙にかかわってこなかった市民の立ち上がり、一人の女性の声から始まった一人街宣、選対でも把握しきれない多様な取り組み、SNSによる全国との響き合いなどについて報告し、これからも住民自治を進める決意を話しました。



## 練馬区の高齢期運動

高齢期運動練馬連絡会の香取さんは、高齢期運動連絡会に集まっている団体を紹介し、その中で地域まるごと健康づくりを合言葉に活動する組合員 18,000 人の東京保健生協練馬協議会の取り組みを報告しました。ゆたかな文化を軸に集まる班活動、みまもり活動、相談活動、まちかど健康チェック、地域のさまざまな団体との連携など、力を合わせて孤立をふせぐ充実した取り組みが報告されました。



実行委員会代表委員の木原さん（東京母親連絡会）が決議を提案。代表委員の吉岡さん（東京高齢期運動連絡会）が閉会挨拶を行いました。集会後、中野駅北口で宣伝行動を実施「大軍拡をやめて、社会保障の拡充を」と声を響かせました。

## 3月1日第3分科会

### 「生存権裁判の現状と展望」に参加しよう

3月1日（水）10:30～東京労働会館で東京のつどい第3分科会「生存権裁判の現状と展望」が開かれます。22日の全体会に参加した人は、会場参加も無料です。ぜひご参加ください。申し込みはネットから



<https://forms.gle/p7kU8NdXCf1334VQ7>